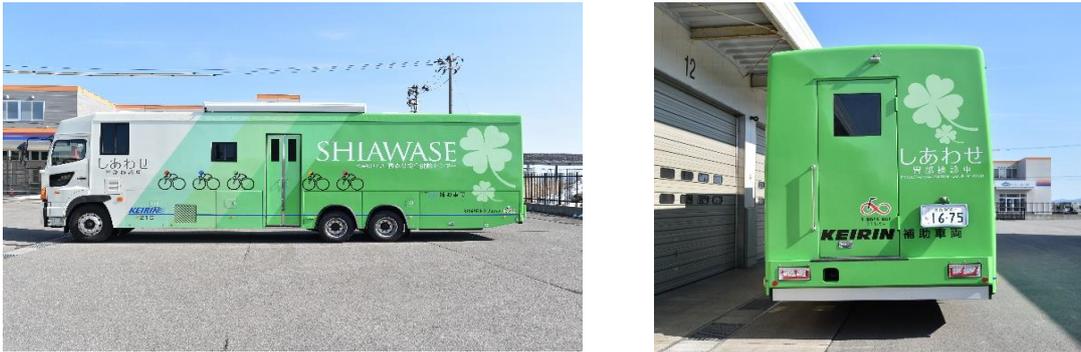


事業者名	青森県総合健診センター				
車両種類	胃部X線デジタル検診車				
写真					
主な巡回先	事業所検診： 外ヶ浜町、六ヶ所村、青森市、弘前市、八戸市、三沢市、むつ市、平川市、平内町、野辺地町				
	住民検診： 蓬田村、外ヶ浜町、大鰐町、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町、東北町、六ヶ所村、六戸町、東通村、青森市、弘前市、黒石市、三沢市、むつ市、平川市、五所川原市、つがる市、七戸町、野辺地町				
利用状況	年月	稼働日数(日)	巡回先数(箇所)	受診者数(人)	運行距離(km)
	平成29年4月	15	16	1047	1,862.0
	平成29年5月	22	23	1593	1,739.0
	平成29年6月	29	29	2550	1,969.0
	平成29年7月	27	27	2507	2,371.0
	平成29年8月	22	22	1890	2,189.0
	平成29年9月	26	26	2218	2,778.0
	平成29年10月	22	22	1766	1,760.0
	平成29年11月	19	19	1485	1,818.0
	平成29年12月	11	11	494	681.0
	平成30年1月	0	0	0	0.0
	平成30年2月	0	0	0	0.0
	平成30年3月	2	2	71	243.0
導入による最も大きな効果	<p>(1)デジタル化による受診者の過去の受診歴の把握が容易になったことと、現像トラブル等の激減による諸経費節減につながったこと。</p> <p>(2)画像処理上では、直近の過去画像を添付配信できることから、読影医師が読影中瞬時に比較読影が可能になったこと。また、透視動画の録画装置により、がん発見時の画像確認ができることで、受診者に対する利益のみならず、検査者(医師・技師)の技術向上に大いに役立っていること。</p> <p>以上の点から、以前に比べてより精度の高い検診が可能になった。</p>				
補助事業概要の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/koueki/h28/pdf/28-1-066.pdf				